



千代田区社会福祉協議会

ご近所福祉活動



大都会ですが、地縁のつながりが色濃く残る千代田区らしい、地域のささえ合いの活動の一つです。年齢や身体状況、生活状況にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくよう、地域で助け合うこと、1人の不安や悩みを地域のみんなで支えられるようにしていくことを目的としています。

〈ご近所福祉活動の一例〉

(1) 戸別訪問・見守り訪問

町会のみなさんで分担して、地域の方々へ季節の変わり目などに訪問を行い、安否確認をしています。その他、街やお店で見かけたときにも積極的に声かけ活動を行っています。

(2) 茶話会・食事会

地域に住んでいても、顔を合わせる機会が少ない方の交流を兼ねた茶話会・食事会などを行っています。

(3) 住民向けの学習会・勉強会

地域の方から寄せられた相談や困りごとに気づくきっかけとするため、学習会・勉強会を開催しています。区内全域を対象にするものから、各地区を対象とするものまで、地域の声を基に開催しています。

地域と社協が顔の見える関係を作るため、全職員が地区担当を持ち、住民とともに地域福祉課題の解決に取り組んでいます。令和6年度からは、CSW事業もスタートし、これまで以上に地域に出向き、幅広い相談を積極的に聞き取っています。



千代田区社会福祉協議会

企業と学生との連携



千代田区は住民が少ないですが、困りごとは多岐にわたります。さまざまある福祉課題の解決に向けて、企業や学生の力は千代田区にとって欠かせません。企業や学生と話し合いを行い、福祉課題解決に向けて、それぞれの強みを活かした取り組みを行っています。

〈取り組みの一例〉

(1) 学生ボランティア×町会行事

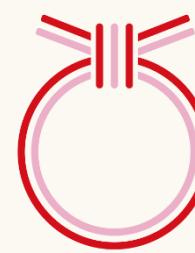
町会行事を継続するまでの担い手不足という課題を、地区内の学校と共有し、学生が運営ボランティアとして活動することになりました。その後も、継続的に町会とのつながりが生まれています。

(2) 大学生による子どもの居場所づくり

区内児童機関から“子どもの居場所の少なさ”について話を聞き、何ができるかを検討した結果、大学生と楽しく過ごせる子どもの居場所として「大学生と宿題を進める会」を開催しました。子どもたちにとって少し先の未来の自分をイメージする機会となりました。

(3) 企業ボランティア×障がい児施設

企業向けに施設の支援ニーズを学ぶ学習会を開催し、何ができるかを検討した結果、普段関わることの少ない大人との交流や遊びの場を提供するために、障がい児施設の子どもたちを対象とした縁日を開催しました。



千代田区社会福祉協議会

ちよだで多世代交流 Ciao! (ちゃお)



ちよだで多世代交流Ciao!(ちゃお)は、多世代が集い、出会い、楽しむ拠点として、平成28年1月にスタートしました。「Ciao！」には、子どもから大人まで、気軽にあいさつや交流ができるようとの想いが込められています。

〈Ciao!の取り組み(一例)〉

(1) 多世代交流カレッジ

工作、俳句、音楽などのワークショップ等を通じた多世代での交流イベントです。

(2) ひだまりサロン

月1回土曜日に実施。運営主体を地域団体やボランティア団体が担うことでお互いが顔見知りとなる、ゆるやかなつながりづくりの場です。

(3) 多世代交流食堂・かがやキッチン

一人暮らし高齢者を対象とした食事会。料理は調理ボランティアが行い、配膳・交流ボランティアとして高校生・大学生が参加しています。

R 6 年度	実施回数	延べ参加者数
	76回	2,384人